

平成 26 年度厚生労働省科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）

「全国在宅医療・介護連携研修フォーラム」

- 日時：2015 年 2 月 14 日（土）12:30～17:00（12:00 受付開始）
- 場所：ステーションコンファレンス東京 6 階 会議室
- 目的：地域単位の在宅医療・介護連携のための多職種研修の推進
- 主催：国立長寿医療研究センター 東京大学高齢社会総合研究機構／医学部在宅医療学拠点
- 共催：全国在宅療養支援診療所連絡会
- 後援：日本医師会 全国保健師長会
- 対象（事前申し込み制）：
 - ・ 主対象：都道府県在宅医療・介護連携担当者（現に在宅医療・介護連携推進事業について市町村行政との調整実務を担っている者／担うことが期待されている者）
 - ・ オブザーバー：全国で在宅医療・介護連携推進事業に携わる者（市町村、地区医師会等）
- タイムテーブル：

時刻	項目	内容・講師等
10:30	プレイベント	在宅医療・介護連携推進事業に関するテーマ別意見交換会
12:00	受付開始	
12:30	主催者挨拶	国立長寿医療研究センター企画戦略局長 吉野隆之
12:35	来賓挨拶	日本医師会 常任理事 鈴木邦彦
12:40	趣旨説明	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫
12:50	在宅医療・介護連携推進事業について	厚生労働省老健局老人保健課 係長 春日潤子
13:20	在宅医療推進のための地域における多職種連携研修会の紹介	東京大学高齢社会総合研究機構 准教授 飯島勝矢
13:40	各地における在宅医療・介護連携研修の取り組み	各地からの報告 ・ 都道府県～市町村レベルの取り組み例：大阪府 ・ 都道府県レベルの取り組み例：滋賀県 ・ 市町村レベルの取り組み例：横須賀市
14:40	休憩	
14:55	ワークショップ：各地で在宅医療・介護連携研修を展開していくために	・ 各都道府県で在宅医療・介護連携研修を効果的に展開していくため、以下の論点を含みつつ意見交換 ・ どのような展開手順をとるか ※参考：飯島准教授スライド 26～29 枚目 ・ 行政と医師会の分担をどうするか ※参考：同 31 枚目 ・ 討議の内容について各グループから発表 ・ 全体討論・コメント
16:35	共催者より今後に向けて	全国在宅療養支援診療所連絡会 会長 新田國夫
16:40	閉会挨拶	国立長寿医療研究センター 名誉総長 大島伸一
16:50	終了	会場都合により 17:00 完全撤収厳守
18:30	情報交換会（事前申し込み制）	同会場にて（費用は各自実費負担）